



市長とランチミーティング 56

石垣市の電気・管工事業界の環境改善について

第56回「市長とランチミーティング」は平成27年9月2日(水)に「沖縄県電気・管工事事業協会 八重山支部」の皆さんと行われました。

**中山市長** 今日はランチミーティングにご参加いただきましてありがとうございます。去った台風15号の復旧作業等では、大変お力添えをいただきありがとうございます。今日は、石垣市のインフラをしっかりと支えている皆さんから色々なご意見を聞かせていただいで、またそれを市の施策に反映していきたいと思います。

**会員** 若者の業界離れが進んでいる為、主任技術者が不足になる傾向にあるので、その支援をしていただきたい。また、県の大規模公共施設等において、入札参加要件である経営事項審査の総合評定値の基準点が高く、地元企業がなかなか届かないので、この基準点に達するような緩和策を取っていただきたいです。

**副市長** 皆さんが一番問題にしているのは、主任技術者が



不足していることですね。しかし、仮に、会社に主任技術者が2人しかいない状況で国と県の仕事を受注した場合主任技術者がもう1人必要になってきますが、その場合は実務経験者を主任技術者として認定することができます。

から10キロメートルに広げたことで、兼務しやすい環境になりましたよね。

**副市長** 国土交通省の規制緩和は工事の内容が同一ということですので、なかなか難しい部分もあります。

**会員** 電気工事を受注している会社で管工事を一緒に受注した場合、業者は同一地域です。主任技術者の1人で兼務できますよね？

**契約検査係長** 同一現場の電気工事と管工事であればできます。

**副市長** 石垣市の発注する工事は、取り分けという制度もありますので、できるだけ多くの会社が受注されて、技術力を更に向上していただきたいです。業界の皆さんが最低1件以上取れるように努力していきたいと思えます。



**会員** 大変失礼な言い方ですが、国が発注する工事は管理が厳しいです。私達の業界は主任技術者が足りないのが現状です。

**副市長** 講習を石垣市で行うなどの支援はできませんが、やはり自らの会社や業界のレベルアップをする為には、主任技術者をもっと増やしていた

いただきたいです。

**会員** 現在、建設業界では若者が非常に不足しています。ましてや主任技術者の試験となれば、みんな尻込みしてしまう傾向にあります。

**会員** 私は20年近くこの業界で頑張っていますが、今後、技術者を安定雇用していく為には、経営者側が労働環境を考えていかなければならないと思います。また、主任技術者の認定の件も、キャリアを

うまく活かしながらやっていきたいです。

**会員** 技術者の育成も考えていかなければいけないですね。そうすることで地元の企業も力がついてきます。

**会員** 以前、八重山3高校に行き、建設業について話をしましたが、多くの生徒があまり関心を持っていませんでした。また、八重山商工高校の電気科と機械科の生徒に話をした際も、別の仕事を希望しているかと答えた生徒が多数いました。

**会員** 普通高校の生徒にも関心を持ってもらいたい。普通高校の生徒が将来、電気工学者や建築家になりたいと思えば幸い。私達は、将来の子どもの為にも何かしたいと考えています。

**副市長** 沖縄県のグッドジョブ運動のように、小さな頃から職業教育として、建設現場を見てもらうことは必要かも



**中山市長** 実務経験で認定できる技術者は各会社にどのくらいいますか？

**会員** ほとんどが要件を満たしています。

**中山市長** 実務経験者を主任技術者として認定する為には

申請が必要なのですか？

**契約検査係長** はい。要件を満たす技術者登録をしていただければ問題ありません。

**中山市長** 工事を受注できれば採用するというのはどうでしょうか？

**契約検査係長** 現場代理人についてはいいのですが、主任技術者については3カ月以上の雇用が要件です。

**中山市長** 課題としては、人材の不足と、これから人材の育成をどうにかしなければならぬということですね。また、市独自かどうかは定かではありませんが、緩和できる部分は緩和していきたいと考えています。更には、国や県に要請をしていきたいと思えます。今後とも行政と綿密な連携をよろしくお願いします。今日はありがとうございます。

